



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O TOSHIIDE AKIZUKI
 8-3-410 NISHIKURACHO ASHIYA
 HYOGO JAPAN

1998年9月 第3号
 Chartered July 20, 1982

標語(1998~1999)

クラブ会長	『楽しく奉仕と活動を』
国際会長	"Positive Commitment to Practical Action" 『さあ! 実行のとき』
アジア会長	"Friendship & Peace Forever" 『友情と平和を永遠に』
西日本区理事	"Positive Commitment to Practical Action" 『さあ! 実行のとき』
中西部長	『初心にかえり、奉仕しよう』

クラブ役員

会長	秋月 利英
副会長	池永 洋宣
	" : 藤原 正巳
書記	福永 嘉彦
	" : 芳崎 栄治
	" : 坂本 哲朗
会計	三浦 直之

月間強調テーマ: 『MENETTE』

＝9月の聖句＝

いずれにせよ、主においては、男なしに女はなく、女なしに男はありません。それは女が男から出たように、男も女から生まれ、また、すべてのものが神から出ているからです。

(コリントの信者への手紙1 11章11~12節)

oooooooooooooooooooooooooooooooo

＝Attention Please!＝

秋月会長が体調不良のため、藤原副会長が暫くの間代行を務めます。最近、会員中に健康を害されたり、思わぬ怪我をされたりする方が散見されます。季節の変わり目ゆえ日々もご自愛のほど祈念致しております。

＝9月第1例会＝

日時: 1998年9月16日(水) 6.30-8.30 p.m.
 場所: 大阪リーガランドホテル

司会: 中村 幸枝 様

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1.開会点鐘 | 隅田恵子 様 |
| 2.ワイズソング | 同 |
| 3.聖句朗読 | 池永美智子 様 |
| 4.ゲスト紹介 | 秋月 利英 会長 |
| 5.入会式(畠中彬君) | 秋月 利英 会長 |
| 6.日々の糧・黙祷 | 同 |
| 7.晩餐 | 同 |
| 8.卓話 | |
| | 「照明と私達のくらし」 秋月 有紀 氏 |
| 9.「ツッパール・ワイズクラブ」 | 坂本 千春 様 |
| 10.お誕生日祝い | 同 |
| 11.ニコニコ献金 | ドライバー |
| 12.役員会・委員会報告 | 各役員・委員長 |
| 13.YMCA ニュース | 神田連絡主事 |
| 14.閉会点鐘 | 隅田恵子 様 |

＝9月のお誕生日＝

下記の方々です。Happy Birthday!
 藤原君 14回

＝9月の例会当番＝

第1班の皆様です。よろしくお願ひします。
 (中村、福永、池永(副)、堀井、神田)

＝8月の出席状況＝

残念ながら44.4%とこれ迄のワースト記録を更新しました。仕事の都合や健康問題など様々な事情と承っておりますが、代わってメネットの皆さんが大勢出席され、例会を大変盛り上げて頂きました。メンの皆さん、メネットの「内助の功」に頼らず、積極的に例会への出席を心がけましょう!

会員数	例会出席	第1	第2	BFポイント	ニコニコ献金	ファンド
在籍会員 27名	メン	11名	4名	8月: 切手 841gr.	8月: 0円	8月: 現金 0円
広義会員 0名	メネット	8名	1名	現金 2,500円		レカ 0枚
合計 27名	コメット	0名	0名	累計: 切手 1,994gr.	累計: 24,000円	累計: 現金 3,600円
出席率 44.4%	ビジター	0名	0名	現金 5,000円		レカ 500円x10枚
(メイクアップを誌)	ゲスト	2名	0名		(クリスマス献金、オークツォン 売上分、記念献金を除く)	
	合計	21名	5名	(別冊は別冊"BF報告"の通り)		

— 今月の聖句に寄せて —

この聖句は、使徒パウロによって書かれたものです。パウロは元の名をサウロと云い、キリスト教徒を激しく迫害した人ですが、ある時、キリストの光に打たれて180度改心し、熱心なキリスト教の伝道者になり、キリスト教をイスラエルの地方宗教から、ローマに伝えることにより国際化させた人です。

今月の聖句は、そのパウロの言葉として「キリストの教えの下では、男性と女性是对等な存在価値を持っていること」を端的に表現した言葉です。

今日、国際的社会奉仕クラブはいくつか活動していますが、会員の夫人が例会に常時出席したり、夫人の会を組織しているクラブはワイズ以外には見当りません。それはワイズでは、この聖句にある信仰に基づき完全な男女平等思想に立って、会員と夫人の協力関係がごく自然な形で成立しているからです。

(聖句選・解説：黒田 敏之)



(西クラブ副会長、なかのしま井上会長、センテニアル藤原副会長による開会点鐘)

— 8月第1例会報告 —

(8月20日(木)6.30p.m.)

川村 一夫

残暑が例年より厳しいこの時期、大阪西、なかのしま、センテニアル合同の納涼例会が大阪リーガランドホテル3Fエンパイアルームで開催されました。

第1部は、西クラブ山本君の司会、三クラブを代表して西クラブ鄭会長の開会宣言、西クラブ鄭会長、なかのしま井上会長、センテニアル藤原副会長合同の開会点鐘がなされ、次いで伊藤西日本区理事ほか多数のゲストが紹介されました。(出席10クラブ、87人)

続いて、わがクラブ黒田君の選定になる聖句が藤原副会長より朗読され、栗山中西部長の感謝の祈りの後、伊藤西日本区理事の乾杯により楽しい例会の幕が切つて落されました。

秋月会長ほかのご苦勞の甲斐があつて、料理は質量共に充分で、飲み放題のビールと相俟つて会場は大いに盛り上がり、方々で歓談の輪が広がりました。

第2部のゲームコーナーは、西クラブ春田君のプロ顔負けの軽妙な話術と、なかのしまミス・ギルグの取合せが人気を博し、会場を笑いの渦に巻き込みました。

メインイベントのビンゴゲームでは、わがクラブの福永メンがリーチ一番乗りを果し、また、芳崎メンが特賞のリガランドホテル・スイートルーム宿泊券を獲得するなど意外に勝負に強い一面を見せました。

楽しいゲームタイムに童心に帰り、閉会時間が定刻を15分程超過しましたが、西日本区伊藤理事による閉会宣言、三会長・副会長による閉会点鐘により例会は無事終了し、散会となりました。交流が深まり、当日の功勞賞は参加者全員との認識を強く持ちました。

最後に、当日Y3-ウエスト・ファンドの募金に協力頂きましたことにつき、改めて感謝申し上げます。

— 8月第2例会報告 —

(8月26日(水)6.30p.m.)

藤原 正巳

健康上の問題などが相次ぎ、7月に引き続き出席者5名のこじんまりとした第2例会となりました。当日の役員会での決定事項は概略下記の通りです。

1. 9月第1例会プログラム

プログラム内容については、表記プレティン参照

2. 10月第1例会プログラム

10月の月間強調テーマはEMC-E。当日は、中西部・田中EMC事業主査(茨木クラブ)より「CS活動とEMC(仮題)」と題する卓話を予定

3. 10月第2例会開催日

第4水曜日が「秋分の日」となるため、翌10月24日(木)に開催することとした。

4. 98/99中西部大会の件

講師には、宮崎日本YMCA同盟前総主事をお願いすることとし、細部については神田連絡主事に連絡・調整を依頼した。

テーマについては、YMCAの国際協力活動の実態についてのお話を予定しているが、この際、先般のパプア・ニューギニアの地震津波災害に対する救援アピールについても触れて頂き、後刻、会場で募金実施の予定。

大阪地区ワイズ全体の取組については、大阪YMCA評議会での協議結果を待つて対応検討の予定。なお、中西部メネット大会については、来年2月の土曜日の開催を検討することとした。

5. 秋の一泊研修の件

諸般の情勢を勘案し、来月以降取扱いを検討することとした。

6. IMAGINE 21「再開」実行委員選出の件

9月7日(月)大阪YMCAにて開催予定。

Yサ・ASF担当、藤原副会長に出席を依頼した。

連絡主事：神田 尚人

谷川 寛

* 午餐会

日 時：9月11日(金) 12.15～13.45
場 所：大阪YMCA会館 10F 101号室
テーマ：「価値創造の戦略」
講 師：加護野 忠男氏(神戸大学教授・経営学部長)
会 費：3,500円 昼食付。(議のみ2,000円)
問合せ：賛助会事務局 441-0894

* 六甲山上「祈りの集い」

日 時：9月12日(土)～12日(日)
場 所：六甲研修センター
内 容：「祈り」について、またYMCAの「C」
について共に語り考えます。
参加費：10,000円(1泊3食)
問合せ：サポートデスク 441-0894

* 究極のバザー

日 時：9月13日(日) 10.30～15.30
場 所：弁天町オーク200 多目的広場
内 容：売上金で大阪市の姉妹都市から留学生招請

* 早天祈禱会

日 時：9月18日(金) 午前7.30～8.30
場 所：大阪YMCA会館 10Fチャペル
証 し：江見 淑子氏(なかのしまりずMIXクラブ)
会 費：300円(軽食代)

* 国際活動って？

ースリランカプロジェクトを通してー
日 時：9月26日(土) 14.00～16.00
場 所：大阪YMCA会館
内 容：プロジェクトの報告会を通して、私たちに
できる国際活動について話し合います。
問合せ：サポートデスク 441-0894

* 久々に出席した8月の第2例会で、10月に開かれる中西部会の相談を致しました。講師の招聘は私に任されていたのですが、先日、運よく日本YMCA同盟前総主事の宮崎幸雄氏から快諾を得、一安心です。講演の中身についても第2例会で話し合いましたが、アジアのYMCAとの国際協力、とりわけ今回はパプアニューギニアの津波災害への支援について話をさせて頂く予定です。

この問題は、大阪YMCAの国際協力委員会も関心を寄せているので、中西部のみならず、大阪Yの中で大きな支援の輪が広がればと願っています。

BF員長：山村 幸明

◇切手提供者：鈴木君、秋月君、隅田君、谷川君、黒田君、福永君、中村君、藤原君、山田君、山村君

* 当月の殊勲賞(秋月君:326gr. 黒田君:218gr.)

◇現金提供者：栗山君、山田君、山村君
(当月合計、本年度累計は第1面に記載)

本年7月13日から19日まで、ドイツのケルン郊外 Flechen で開かれた第14回世界YMCA大会の様子をお知らせ致します。

この世界大会は、世界同盟に加盟している100ヶ国近い国々のYMCA関係者が、4年に一度集まる大会です。毎年夏に開かれる世界同盟常務委員会も同時に開かれ、私としては8年間勤めた常務委員会最後の年になりました。

今回の主要テーマは「世界のYMCAの組織、及び機能の見直し」です。21世紀に向かう世界YMCAは、今新しい使命(クリスチャン・ミッション)を求められています。

YMCA運動は、世界の120ヶ国に広がっていますが、世界が多様化した今、各々が考えているミッションの中身が幅広く、未だ今日的ミッションの内容がまとまっていないのが現状です。

また、世界YMCA同盟と各地域同盟との間では、その在り方に関して意見の違いが広がっています。世界が多極化し、地域中心の動きにシフトしている中で、アメリカ、カナダなど地域同盟を持たない国々は世界同盟中心の考えを主張しています。

この問題については、今回の大会でも参加者全員で討議を進めましたが、最終結論は出ていません。

民主主義は時間がかかるものであり、結論がでる迄には暫く時間がかかるとおもわれます。

今回の大会にも、ワイズ国際会長リック・キム、ISGイブ・ワリー、YLFジョー・アンダーソ、次期YLFガイド・モリス等が参加し、ワイズPRの為よい働きをしていました。(YMCAは、世界の120ヶ国以上にありますが、ワイズは世界的に限られており、YMCAの主事でもワイズを知らない人がたくさんいます。)

エリック・キム会長とは永年の友人で、現在のワイズ活動につき忌憚のない意見の交換を致しました。

現在の国際ワイズ活動の問題は、昨年来のアジア通貨・金融危機に伴う財政面の影響です。

最近のISG報告にもある様に、国際ワイズ財政に占める国別の割合では、韓国20%、日本10%となっていますが、今回の危機で韓国は通貨を50%以上切下げたため、国際会費をウォンで支払うにはこれ迄の倍以上支払う必要に迫られています。日本も円安になった分負担が多くなりました。

この様な問題はワイズのみならず、YMCAアジア同盟、世界同盟にも徐々に現れてきております。

最後にドイツで感じたことは、英語の浸透とアングロ・アメリカンがグローバルスタンダードになるというドイツ人の認識です。世界的に進行している情報通信革命から、世界の共通言語が英語に収斂されることを早くから読み取った対応が強く感じられました。

「第63回ワイズメンズクラブ世界大会に参加して」

栗山 佳三

私と山田孝彦君をはじめ21名の阪急交通社ツアーの一行は、空路ジュネーブからブダペストに入り、バスでウィーン、ブラハを駆け足観光しながら再び空路で国際大会開催地ヘルシンキに入りました。

ブダペストは、「美しき青きドナウ」ならぬ緑色に濁ったドナウに失望し、バスの中まで忍びこむ置き引きには貴重品とパスポートは必ず身に付けておくという海外旅行の常識を思い知らされました。

ウィーンでは、出発前から楽しみにしていた懐かしの名画「第三の男」に登場する100年前の本造観覧車から薄暮のウィーンの情景を楽しみ、ザッハーホテルのテラスでオリジナルザッハートルテとメランジュ（当地で一番ポピュラーなコーヒーをこう呼びます。）を食べ、その旨さに大感激致しました。

また、ブラハには「ブラハの春」革命を押し潰したソ連軍戦車の砲撃痕が残されており、未だに反ソ感情が強い様です。この町には、モーツァルトが歌劇「ドンジョバンニ」を完成させたといわれる屋敷がモーツァルト記念館として残されており、この屋敷の芝生の中庭で開催された弦楽四重奏演奏会を楽しむことができました。

さて、肝心の国際大会ですが、世界の49ヶ国から870名を超えるワイズメンが集いました。日本からは、中高生主体のY3の若者20名を含めて120名が参加、中には自転車にテント・寝袋を積んでヘルシンキ入りした元気なワイズの姿も見られました。

大会は、セントジョン教会で全参加国の国旗を掲揚するフラッグセレモニーと市中パレードの後、会場をマリナコングレスセンターに移して基調演説、事業報告、地域別ミーティング等が4日間にわたって精力的に行われました。

夜の10時半になってもまだ明るいという当地では、プログラム終了が24時というのは当たり前のように、これには閉口しました。

次の大会は2年後に香港で開催されますが、是非みんな参加しようではありませんか。

—CSニュース—

山田 孝彦

1. 関西いのちの電話チャリティーコンサート大盛況

去る8月1日、いずみホールでのチャリティーコンサートは、お陰様で昨年に続き「満席」の盛況で終えることができました。センテニアルメンバーあげてのチケット販売・協賛広告、中西部各クラブ（土佐堀、豊中、千里、茨木、セントラル、なかのしま、ヴェクセル）の協力購入など、ご支援の賜物と、感謝を込めて報告致します。

秋には恒例のチャリティーバザーが控えております。メン、メネットの協同作戦で頑張りましょう！

上記に関し、いのちの電話より礼状が届きました。

お 礼

去る8月1日の「98関西いのちの電話チャリティーコンサート」に際しましては、貴クラブの皆様には一方ならぬお力を賜り、誠に有難うございました。お陰様で当日の入場者は770名を数え、満席の盛況ぶり、大きな成果を上げることができました。ここに衷心より厚くお礼申し上げます。

社会福祉法人 関西いのちの電話

2. いのちの電話25周年記念募金に大きく貢献

わが藤原副会長の勤務先、興亜火災海上保険では、社会貢献活動の一環として役職員全員の拠出により「興亜おもいやり倶楽部」が組織され、有意義な社会奉仕活動実施団体に資金支援を行っています。

今般、いのちの電話25周年記念募金につき寄付の実施を申請したところ、いのちの電話の活動が評価され、現金10万円の寄付が決定しました。

早速8月26日、いのちの電話で贈呈式を行いました。最近、同様の支援制度を持つ企業が増えていきます。あなたの会社についても是非チェックしてみてください。

—メネット会だより—

隅田 恵子

☆中西部メネット会の目標決定

今期のメネット会国内プロジェクトは、「ヒアリングドッグを育てる会」への支援です。私たちメネット会も積極的に協力していきたいと思えます。

いつも例会でメネット手作りのスコーンや、ケーキ、コーヒーなどの販売にご協力頂き、感謝致しております。今期は更に実績をあげるため、新たに「アクリルタワシ」の販売を予定しています。編み物がお得意の方、ご協力下さい。

☆究極のバザーが行われます。

詳細はYMCAニュース記載の通りですが、当日は販売のお手伝いを致します。お買物だけの参加も歓迎です。是非遊びに行ってください。

☆阪和部合同メネット会が開催されます。

と き：11月22日（日）13.00～16.00
 ところ：宝塚ホテル 2F 菊の間
 内 容：卓話「ヒアリングドッグを育てる」ほか
 詳細はパンフご参照下さい。

news news 会員消息 news news

◇谷川 寛君

9月12日より10日間オーストラリアに参ります。南クインズランド大学で「日本経済」に関する5日間の集中講義を担当します。今回の訪問ではメネットも同伴し、豪州の春を楽しみたいと思っております。

◇隅田 保・恵子君

〒659-0013 芦屋市岩園町12-15-104
 ☎・FAX 0797-32-4506